夕刊
磐城新聞
九月一日發行
（日曜祭日翌日休刊）
定價 一ヶ月金六拾五錢
發行所 磐城新聞社
東京振替一〇六五五八五番

天氣豫報　小名濱候所測觀測
今晩は南東の風後曇
明日は南西の風曇時々雨

平雑感（二）

島田忠夫

□

滯在中の八月十九日、私は展覽會も無事終へたので折から、東京からやつて來た山妻が伴ひ、某夫人の御案内で、磐間へ遊びに出かけた。四丁目の百澤から出發する、あの大型のバスである。

□

十九日の、午後二時頃であつたらう。バスの中はかなり混んで居たが、中で妙にカン〜聲で話してる婦人がある。中背の三十四五歳位、尋常四年位と二年位の女兒をつれてゐる。

ほかに中學を卒へた位の客人らしいのを伴れて、出發前の車中で、聞えよがしに盛んにわめいてゐる。ちよつと氣の利いた服裝であり、言葉のひどい關西なまりで、平市居住者で、中流の生活者……勤人の細君でもあるらしいと私は見た。

□

『平市と言ふたカテ、通りが、ツウ ツウ〜ツウと三本ある切りですわ。ほんの小さい田舍町よ』

その細君は、折角の寄仁才觀光客に斯ういふ說明をしてゐる。

『文化程度のひどく低い所よ。まア、○山へんちや、村ですわね』

躍進平市も、この高慢な婦人に會つちや關西の村位だと斷定された。なる程、この婦人の言葉で、○山產といふことが分つた。寄仁才觀光客は、同じく○山から來たものらしい。

□

バスは動いた。その前に、この婦人は、これから磐間海岸、沼の內辨天へ行くことを話して、歸りだけハイヤーを頼んだ。さて、バスか、釜磐商店の前へ來ると

『これが東北一のお金持ですとサ。本當かどうか分らないが、東北一と稱するのよ。東北一とね……』

東北一にする事が、よほど惜しいらしい。女性のあ理が露骨に見える。彼女は車中の乘客は、みな田舍者なりと斷定してゐるらしく、ますます大聲を發して、平市に侮辱を加へてゐる。

『商店ヤテ、何だヤテ、まるで舊式よ。文化の程度がゼロよ。新聞なんて、小つぽけなのが澤山あつてね』

よけいな事を言ふ。舊式でも、業績を擧げてゐる商店もある。新聞が、大小にかかはらず澤山あるのは、地方の文化が發達してゐるのだ。小生意氣なことを言ふ。バスが、月見町を出はづれる。

『ホラ、田んぼが見えるわ私んチから、一目に見おろせるせしよ。あの青い田がこれよ』

なるほど、この高慢婦人は城山の居住者であることが分つた。

9月2日
△八田知紀歿（明治六）△第一回日滿美術展開催（昭和九）△日滿會商紛糾解決に滿洲政府具体案を提出（同一二）

田にし

田にしが

山寺ゆき

淺岡綾子

○たち茂る樹々のかげ濃き壺山や清水音かの幽か音すも
○車中にて見し親子づれに又逢ひて山寺の山は親しかりけり
○寺びとにあまへたき心湧きにつゝ椿の技にみくじ結びぬ
○ぬばたまの夜空啼き過ぐ鳥ありて深閑とあとにつぐ音のなく
○夕さりし露台にありて聞きすますます蛙の聲の一つなる音

腕角力

高谷眞

風鈴ゆれるお椽がわ
裸ん坊の子供が二人
『僕の方黒いよ』
『僕の方黒いよ』
どつちも黒い腕くらべ
肩をおし合ひくらべてる
『僕の方太いよ』
『僕の方太いよ』
どつちも細い黒い腕
あゝ始まつた腕角力
――どつちも負けるな
――どつちも負けるな
風鈴すずしいお椽がわ
パンツ一つの子供が二人

墓まいり

みうら五朗

蓮の葉に乘せ
ぼた餅を
爺ちやの墓に
供げました
淋しいような
お線香
お花に煙が
かゝります
お燈ともして
お父さんと
た珠數をもんで
拜みます

ころりヨ
電報 買つて
ころりヨ
おらも へくさに
出たらござる
S生

ソくの日〜

○

雨風にはじまる九月學期かな　草人星

海門橋

珠甕　小野務平

關東絕勝海門橋
千丈臥龍吞碧潮
大廟旬餘江岸壞
惜斯奇景一朝銷

講談

隱密小天狗（おんみつこてんぐ）

(114)　中川雨之氏作　近藤鐵氏畫

妖怪か人か、

小屋の中は、ぴつたりと窓を閉てあるので、まつ暗であつた。がけれども只僅に、節穴から流れ込んで來る、糸のやうな光線で、物の形ちが、おぼろには見えるのであつた。

お蝶が這入つて來ると、壁際のあたりで、むく〜と、動く物があつた。

『遁くなりましたねえ』

といひながら、お蝶は盆を下へ置くと、まづ傍らの小窓の下に深り寄つて、その戸を半分ほど開けた。

そこから流れ込んで來た光線を迎へて、小屋の中は忽ちぱつと明るくなつた。

見ると、壁際のところに傷つける傀作があるのであつた。

彼は、床の上に坐つて、丸めた蒲團にもたれかゝつて居るのだがちよつと見ただけでも、如何にも重態のやうであつた。

それが、傀作だ、といふことが最初から解つてゐたと、なるほど傀作と見えるかも知らない。だが若し、何も知らずに、この小屋へ這入つて來た者があるとしたら、恐らく誰だつて、これを傀作だと思ふ者は無いだらう。

と、思はれるほど、ひどく變り果てた彼の姿であつた。

まるで、木彫の面を見るやうに眞黒に瘦せこけた顏尖つた頬骨の間に、眼ばかりぎろ〜光つてゐるのが凄ろ物凄く、その上、髮はおどろに亂れてゐるし、鬚は茫々と伸びて居るそして、肩も手も、まるで枯木のやうに瘦せてしまつて居る。

それが、薄暗い壁際からぢつと此方を向いた處は、どうしたつて人間はなれがしてある。まるで妖怪だ。鼻の弱い者だつたら、きやつとばかり、一ぺんに眼を廻してしまふだらう。

『お藥を特つて來ました。そしてお粥も柔らかう、煮てみましたが』

と、お蝶は、外を憚るやうに低い聲でいつて、盆の布巾を取除けると、白い湯氣が、かすかに立ち昇つて藥湯の匂が、プン〜と、あたりに漂うた。

『それは、辱けない』

としゆんさくは唯一ト膝しかし、それだけさへ、如何にも、術なさそうであつ傀作は、やがて藥を吞んだ。それも、お蝶に、湯吞を持ち添へて貰つて、やつと吞めるのであつた。

彼はもう、湯吞一つでさへ、自分一人では持てないほど、衰弱し切つて居るのであつた。

彼は、惣五郎のため爰へ連れられて來て以來、まる二日といふものは、苦しみづめに苦しんで、更に人心地なく、食事は愚、一睡もしなかつた。

どういふ理由で傀作が怪我をしたのか、それを尋ねる餘裕も無かつた。が、兎に角、人目については、いけないといふことは分つて居た。そこで、惣五郎、お蝶に相談の上、辛ひ此小屋が空てゐたので、取敢ず。此處で、祕密に手當をすることにした。

お蝶は、それからといふものは殆ど寢る目も眠らず介抱に手を盡した。

お蝶は、暇さへあると、日頃信ずる淺草觀世音を拜んで、

『たとへ、あたしの壽命を縮めても、どうぞ戶田さんを、お助け下さい』と祈りつゞけた。しゆん作に對する彼の心は、それほどまでに燃えて居た。

しかし彼女は、さうした心配の中にも、そぞろに、或る喜びを禁じられなかつた。

難波醫院
內科
小兒科
入院應需
自炊の便あり
平市大町
電話五〇二番
醫學博士 難波睦
（看護婦見習、看護婦募集）

銘木（床ノ間材）
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
一變せる勉強振りを、ぜひ一度お試しを乞ふ
營業種目
建築木材一式
銘木・ベニヤ板
秋田產・杉四分板
建具材・便利瓦
㋕織田材木商店へ
福島縣平市
電話平四六〇番

●小店員募集
年齢十五歲ヨリ廿歲迄

恐るべき中風、腦溢血を速治せしむ
アイヨー錠
血壓を下げ、血管若返り、中風を全治し、早老及衰衰を豫防す。
中風の原因は血管の硬化にあり血管硬化すれば血壓高まり精神的並に肉体的に退行現象を生じ所謂老年病を誘發し或は中風腦溢血を突發す。
アイヨー錠の應用は血管に若返り現象を與へ老衰の進行を緩徐ならしめ初老及中老期に隨伴する總ての不快症を除去し中風を豫防す。
動脈硬化症、高血壓症、初老期に於ける体力及精力減退、中風、腦溢血の豫防に常用すべき貴重藥
百四十四錠（八日分）貳圓　四百八十六錠（廿七日分）六圓
千八百錠（百日分）貳拾圓
專賣店 山野邊藥局
平市五丁目（電呼六六八）

上原家政婦會
平市紺屋町一一
會主產婆 上原通子
電話二二一番
產婆看護婦資格有者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス

食事
喫茶
酒場を
兼ねた
レストラン
サロン
平田町
電三五二

內科、小兒科
院長 前田清美
外科（內臟外科、花柳病科）
產婦人科
副院長 幸恒足
耳鼻咽喉科
副院長 兒玉秀純
X光線科
（手術室入院室完備）
前田醫院
植田町本町
電話一二四番

耳鼻科
咽喉科 專門
平市南町一六番地
大和田醫院
電一七〇番
〔入院室完備〕

平病院（平市元共濟病院跡）（電話六四一番）
院主 醫學博士 鈴木定藏
內科 院長 鈴木定藏
小兒科 部長 佐藤幾要司
一般外科
內臟外科
皮膚尿泌器科 副院長 高橋俊幸
レントゲン科
物理的療法科 部長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診療時間……毎日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

中古各種レール鐵管
礦山用機械器具類
製鐵原料問屋
二大製鐵會社特約店
海軍工廠御用達
銅鐵機械
KS
井尻七三郎商店
福島縣平市鍛冶町十一
電話 五二二番
荷受場 平市鍛冶町 廿三番地
倉庫 平市鍛冶町 九番地
御買上品精々御安く納品至ます
御拂下品は精々御高値に買受ます
十二封度レール、トロ車輪付屬附鐵工工具品、新品着荷致しました

新車のお知らせ
斷然!!! 乘心地良い!!!
三七年型フォード
入車いたしました。
是非！ 御試乘の程を！
市內四丁目
スゞキタクシー
電二一七番

重田眼科
眼科一般
眼鏡檢定
平驛前通り 元貯蓄銀行跡
醫師 重田景治
平市田町一番地

新秋爽凉の
小瀧は招く
一日の清遊には………
どうぞ小瀧鑛泉へ！
鐵道指定旅館
割烹
小瀧鑛泉
電話小名濱一〇三

嵐は東京から上越へ

今早朝の颱風經過ラヂオ放送に 地方一同心配殆ど解消

如何にも大嵐の前奏らしい昨日の天候と、深更から今早曉へかけて兩三回に亘る颱風模樣の臨時放送警告に風雨の一夜を不安に明した地方の人達は今朝六時のラヂオで今曉四時三十分中央氣象台發表として

本日午前三時颱風は東京府下府中附近に在り、時速二十三キロを以て北及び北々西に進行しつゝある爲東京二二米、品川同、横濱三一米、銚子二一米の風速で颱風中心五〇キロ以內は二十キロの時速で進行しつゝあり四時二十分東京では南の風三一米と云ふ氣象臺創設以來の記錄を示したが之で推移すれば正午頃上越の山々を越えて新潟縣に入る形勢であり隨つて京京は颱風が東京の西から內陸に進行して正午頃から回復の域に入る

と云ふ大体常磐以北は其の圏外にそれた旨が放送され次で六時の現在として其れが埼玉縣熊谷を北々西に進んでゐるとの追報に、七時頃からの豪雨には些か肝を冷やし乍らも、前記ラヂオを綜合して、大した事が無く濟むものとの見越しをつけホツとしたかたちであつた

上り列車半日不通

本線も小山で折返し

鐵道　颱風に襲はれた鐵道は今早朝以來ダイヤ混亂、常磐線上りは午前二時二十五分の平驛發急行が水戶で立往生となつて以來水戶以南は不通。東北本線も今朝以來郡山迄で折返し運轉を續け完全に上野行きが杜絶えたが午後二時から復舊した

けさの平驛は『水害のため水戶以南不通』の貼出しをうらめしげに眺めてゐる人々で雜沓を呈した

電話線不通　平局からの電話線は福島、郡山、仙臺線が不通に陷り東京線も相當混んでゐる

坪當り五斗七升　昨日來の降雨量

厄日の關係で神經過敏になつてゐる處から、この雨が大分降つた樣に感じられるが、神谷農試分場の觀測によると、昨三十一日の午前十時からけふの同時刻迄の坪當りが三一ミリ二即ち五斗七升。

豪雨中の初登校

けふ學期初め風景

長い間の夏休みが終り、久し振りで登校する中小學生にとつて今一日の厄日は除りにも過ぎた試練ではあつた。通信簿と練習帳を持つた生徒達が出掛ける七時過ぎには宛然覆す樣な土砂降りに加へて雨具も役せぬ程の風で、往きも歸りも濡れ鼠の生徒中殊に低學年の兒童は見るからに氣の毒な有樣であつた。一學期の失敗を挽回しやうとする意氣に燃ゑて明二日からは愈よ平常通りの授業を開始するのである

九六に過ぎないとの事である

埋立地小陷沒

豪雨のため小名濱港埋立地は地盤がゆるみ各所に小陷沒を起したので目下應急修理中

道路水浸し

好間線車馬止る

好間村の一部では道路に迄冠水、自動車の往來が不可能に陷つた(午後一時)

兩勇士喪の凱旋　兩角部隊に屬し護國の鬼と化した上等兵星野高夫(下小川村)伍長高木惠三(磐崎村)の兩君は今月上旬喪の凱旋をするので近く原隊で慰靈祭執行

『營利目的では駄目』市公會堂使用規程

來五日の市會で制定

市公會堂の使用規程は五日招集される市會で制定されるので當局では昨三十一日と明二日午後一時から開かれる委員會でお膳立てを整へる、先進都市の規程を參酌制定されるもので原則として營利を目的とするものには貸さぬ方針であるが物品即賣展等特殊のものには別に規程が設けられることになるらしい

招待五百名

竣功式準備成る

來月三日の公會堂竣功式に關し市當局で三十一日協議したが修祓式を執行、知事以下縣廳關係者、各市長、貴衆兩院議員、市議、區長學校官衙各町村長、寄附者等五百五十名を招待する

神谷氏受諾　平市役所吏

傷病兵の職業教育學資給與

平市では縣が傷病軍人に對し職業再教育の目的を以て學資給與の途を拓くことゝなつたのでこの旨市內各區に周知

受給該當者は戰鬪又は公務に因る傷病者で增加恩給、傷病年金等を受けてゐるもの、工業、農業、商業其他傷痍軍人職業再教育に適當なる科目を有する大學、專門學校、實業學校に入學したもの給與額は專門學校程度以上年額六百圓以內、中等學校程度同三百圓以內とされてゐる

市青年團主催 時局大講演會

伊豆凡夫將軍獅子吼

市青年團では市役所、鄕軍、國總各後援の下に明後三日午後七時から第三小學校で時局大講演會を催すが講師は日露役當時第三軍の參謀長として乃木將軍を補け赫々の武勳を現はした伊豆凡夫陸軍少將である

毛布を送れ

『前線の兵隊さんに毛布を送れ』の獻納運動は青沼市長が先づ範を垂れて以來青沼淡夫、高橋龜松、中島タイ、鈴木千代吉、吉村濟藏、鷲チエ、中野庄吉、長谷川熊次郎、早川金治の諸氏が相次いで市役所に寄託したがまだ豫定數に達せず來る十五日の締切りを前にして一般市民の銃後心に訴へてゐる

公會堂備品寄附　市內三丁目大黑屋洋品店主人馬目勝次郎氏は取引先のクラブ化粧本舖から緞帳(價格千二百圓)ライオン本舖より衝立(百圓)を公會堂に寄附させた

秋刀魚漁大評定

來る廿一日の解禁を前に 縣代表農林省へ

すらりとした紡綞狀の魚体その体側に濃青に光る數條の線が縱走する見るからに鮮新な鰹の舌の上でとろける樣な刺身の味覺も、漸く移り氣な食通から厭かれ出さうとしてゐる處へ今度秋の食膳を賑なす而も大衆的で榮養價百%の秋刀魚が、來る二十一日から解禁となるので東北地方東海岸各縣及び本縣千葉茨城各縣當局が、明二日農林省に會同して右に關する大評定を開催する

この魚は大体今月末から來月末頃迄群來するもので、あり、出動漁船の燃料關係及び鹽藏其他加工品の現地仕向けなどのある場合品不足必然の値上りが豫想されぬでもないが根が極めて豐富な魚族であり、各階層のお台所を賑らせるは必定であらう

投槍

（投書歡迎）

列車の遲延に就て

◇列車の遲延に關する四倉町菅波生氏の御注意や御希望に對し御住所御氏名等不明瞭の爲め便宜紙上を拜借して一言御説明申し上げ御諒解を願ふことに致します。

一、最近上り下りの各列車とも十數分間宛遲れて着發する爲めお客樣方に大變御迷惑をかけて居ることは事實で洵に恐縮して居る次第です。この原因は過日の世紀的豪雨の爲め常磐線の各所に大水害を蒙り今猶常態に恢復せず彼方此方に迂回假線があつたり路盤がまだ固まらぬ爲め、徐行區間がある樣な始末であります。これ等の被害箇所に對しては社會の爲めにも將た又國有鐵道の名譽にかけても一日も速く復舊をすべく溽暑堪へ難き炎天下にも或は又蚊軍の來襲に惱まされつゝも晝夜兼行で鋭意多數の係員が修復工事に努めて居るのでありますが何分被害程度が未だ嘗て見ない甚大なために世間で考へて居らるゝ樣に捗々しく直らないのであります。然し御蔭を以て逐日工事も進捗し後旬日を經過すれば常磐線だけは略常態に復すことが出來るであらうと工事擔當者より聞いて居りますからそれまで何卒御辛抱の程を御願ひ致します。

二、時刻改正の件は全般的の利害關係を見て時刻を設定致してありますので自然多少の不便を忍んで頂かなければならぬ處が出來ますのは止むを得ないことゝ存じます。理想としてはこの地方でもラッシュアワーは卅分間隔位には列車の運轉を私共も希望して居るのでありますが何分多額の經費も伴ひますので仲々御期待に副ふことの難きを遺憾に存じて居ります。然し御高見は早速上局に申達して次回の時刻改正の時の貴重なる參考資料として貰ふことに致して置きました。この後とも御氣付の點は何なりとお聞かせ下さる樣御願致します。(平驛長)

平市會議事堂移轉

紹介所新築計畫も進む

既報、平職業紹介所は現在市社會課と一緒に事務をとつてゐるので狹隘甚しく、市會議事堂を市役所構內東方の土木工事材料置場のところへ移轉しその跡へ新築する事となり昨三十一日から材料置場取壞しに着手し

尙湯本出張所は距離其他の關係で未だ決定しない

鼠賊。　湯本町日渡炭礦運轉手某(一九)は七月初旬以來入山四坑捲上器具箱內から七回に亘つて銅屑、鉋金等五十圓分を窃取平署へ

軍需會社工場の電話申請を急げ

來る十日迄期間延長

昨今の電話飢饉時代に於ける一大例外として過般來申請を受理して來た國防上必要な軍需會社工場への新設電話は愈よ昨三十一日を以て締切るわけであつたが前記軍需會社工場を狹義に解釋し、立派な資格を有し乍ら申請せぬ向も可なりある結果か、平局の取扱ひは合計七口に過ぎぬ外、他方面も亦同樣の傾向にあるらしく仙遞管內消化豫定數二百二十五口には尙は若干の隔たりかあるので、受理期間を更に來る十日迄延長する事になつたので、該當希望者は同局に就き詳細問合せの上至急手續きを運ばれ度いと

北京から

一寸した敗殘兵の邪魔から四角形の三邊を廻つて漸く北京に着きました。流石長い歷史を持つ支那第一の舊都、學都、遊覽地だけあつて正に文化の中心地です。早速各部隊を訪問し乍ら舊跡の視察と支那國民性の研究に專らです

二十三日　小松茂藤治

陣中を聽く

（228）

近く再た第一線へ 必ず痛快な吉報を

市內二丁目出身　荻野秀雄君(通信)

其後移動進繁に追はれ終御無音に打過ぎました。皆々樣益々御壯健にて堅き銃後の護りに御活躍の事と想ひます。小生た陸樣にて元氣一杯目下〇〇戰線の前線要地にて任務に就て居ります故他郡乍ら御放念下さい。當地は〇〇省に於ける民國機關の重要都市たりし處にて一段よく長江を眺望され、堅固な城壁に圍まれ、古塔巍然として聳へ大陸としては珍しく風趣に富んだ處ですが相變らず惡臭と水と蠅と日中百三十度と云ふ內地にては到底想像を許されぬ暑さには少からず閉口です。こんな炎暑も亦話の種でせう。

又時折蟷螂の斧とか天晴れ最後の抵抗を試みる滅亡近き支那空軍の空襲があり一昨日も三機編隊にて來襲友軍の〇〇砲の轟き〇〇銃のうなり、壯烈な場面を展開いたしましたが吾が鐵壁の防空陣に一物も得ずして友軍機に追はれ數千米の高度を保つて潰走致しましたが後聞する所によると內一機は擊墜されたとの事でした。炸裂する高角砲の彈丸は空中で花火の如き觀を呈し內地では到底見られぬ光景でした。又當地に移動の途中〇〇附近にて敗殘兵と遭遇致しましたが吾が砲の威力に忽ち沈默交戰三十分にして潰走させ痛快でした。併し之ら敗殘兵も間も無く影を潛め、御稜威の支那全土輝き亘る日も遠くないでせう。小生亦皇軍の一員として微力乍ら盡力致すことを紙上御誓ひいたします

近日また第一線に向ふとのこと必ずや良き知らせが出來ると確信いたします。炎暑にも拘らず皇軍の士氣旺盛日一日と初期の目的は貫徹されつゝあります。御休神下さい。

噫生田目君

元入山從業員　菅野太作君

二日目の戰鬪十樓子の戰ひに青天目繁次郎君が名譽の戰死をなされたのです。南京を目前にして倒れたのであります。元氣な戰友で故鄕の皆々樣よりの御便りを待つ朗かな戰友でした。十樓子の戰鬪あの時あそこの生田目君かと思ふと唯涙が出て來ます。書きたき事はありますが唯々感慨無量で筆が走りません、生田目君の持つて居つた日章旗は君があづかり各地の戰鬪に走るかんがいたして居ります 蒙城にも生田目君の日章旗を立てましたから皆さん喜んで下さい。

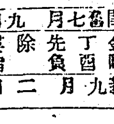
金獻

上遠野村青年學校生徒百餘名は三日繭聯合品評會を開き賣上代を、入遠野村久保梅野勇太郞さん外七名で絹布九枚を上遠野村(內鄕)上遠野富雄、瀬谷四郞の兩君は前線から學校備品費として各十圓を何れも村役場へ寄託

轉任。　平商業學校教諭新田繁氏は新潟縣へ出向、平第一校鈴木武雄氏は三春校に轉勤を命ぜられた

二日（小名濱測候所發表）

滿潮　前八、二〇　後八、二〇
干潮　前二、二〇　後二、〇〇



舊閏七月九日　金曜　丁酉　先負　除　婁宿　新九月二日

▲一白　名利共に擧る吉日但し遠行ば後日にすべし▲二黑　運氣初めはのび難けれども後に吉たるべし▲三碧　苦み多くともこ日の盛と忍びて辛抱すべし▲四綠　利益を度外視して迄も突しんしてこう掛する日▲五黃　根氣の限りを盡し順を守りじよをみださずすゝめ▲六白　物事の調子に變動を生じ意の如く成らぬ日▲七赤　勞少くして効多き日旅行企業開店何れも吉▲八白　しん退ともに自由なる日但し舌禍注意すべし▲九紫　やせ我まんをしても結局はほね折損に終るべき日

晝夜診療
外科一般　內臟外科
レントゲン科　泌尿器科
北川外科
(血液檢査每日)
イツデモ入院デキマス。
平市新川町(電四六四)
醫學博士　北川芳夫
技師　三浦常保

產婦人科
根本醫院
平市南町五二
根本莊次郞
根本貞雄
電話三四番
(病室完備)(入院隨時)

お醬油は……ヤマフル
醸造元
山崎合名會社
福島縣平市
電話(營業部一〇番 本店二七番)
味噌 醬油 たひら正宗 罐詰 飲料品
明治生命磐城代理店　山崎與三郞

高久病院
平市田町(電話五三一番)
內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄
(看護婦至急募集)

皮膚科 泌尿器科 性病科
專門
診療時間　午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院
電話六九一
醫學博士　江尻伊三郞
入院隨意